

コース名	データベースを活用したデータ処理(基本編)		
コース番号	24-16-12-108-517	受講料	3,300円(税込)
日程	令和6年11月7日(木)~8日(金)	時間	9:30~16:30
概要	業務の効率化を目指し、表計算ソフトでは対応できない大量のデータを処理するために必要となるデータベース技術を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。		
推奨対象者	ITを活用した業務改善に取り組む方(Access操作レベル:★☆☆☆☆)。		
実施機関	プライムビジネススタッフ株式会社		
開催場所	プライムビジネススタッフ株式会社 〒930-0018 富山市千歳町1-6-18 河口ビル1階(※駐車場(3F~7F)あり)		

カリキュラム内容(案)		時間
■データベースの概要	<p>(1)データベースの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースは、特定のテーマや目的に沿って集められたデータの集まりで、たくさんのデータを蓄積して簡単に利用するための仕組みであることを説明する。</li> </ul> <p>(2)データベースの構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースには、データを保存する場所であるテーブル、データを抽出・加工するクエリ、データを入力する画面のフォーム、帳票の作成をするレポートという「オブジェクト」という部品があることを説明する。</li> </ul> <p>(3)データベースの構築手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースを構築する際に、「機能」「データ項目」「操作画面」「印刷内容」「画面遷移」、各オブジェクトの名前やつながりを整理しておくこととAccessでの作業がスムーズにいくことを説明する。</li> </ul>	2h
■データベースの設計	<p>(1)テーブルの設計技法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的を明確にし、印刷結果や入力項目を考えてからテーブルを設計することを説明する。</li> <li>テーブル同士は共通の項目で関連付け、必要に応じてデータを参照させることができることを説明する。</li> </ul> <p>(2)データの分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各入力項目を分類してテーブルを分けることで重複するデータ入力を避け、容量の無駄や入力ミスなどが起こりにくくなることを説明する。</li> </ul>	2h
■抽出処理(クエリ)	<p>(1)選択クエリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルのデータを表示するクエリで、集計を行ったり範囲を指定して表示するデータを絞ったり、重複したデータ、不一致データを表示させることができることを説明する。</li> </ul> <p>(2)抽出条件設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単一条件や二者択一条件、AND・OR条件、ワイルドカードやパラメータ、比較演算子など多岐にわたる手法でデータを抽出することができることを説明する。</li> </ul> <p>(3)レコードの並べ替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クエリで並べ替えを指定して保存した場合、データそのものではなく表示するフィールドや並べ替えの設定、計算式などの設定情報が保存されることを説明する。</li> </ul>	2h
合計		6h

※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。